

科 目 名				学年
品質管理論: Theory of Quality Control				5B
教 員 名		岸川善紀: KISHIKAWA Yoshinori		
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	100分×15回	必修	講義・後期	○
授業概要	<p>本講義では、品質を管理することを題材とし、大きく3つの事柄について学ぶ。 1つ目に、品質とは何か、また品質管理の必要性を理解する 2つ目に、統計的品質管理における品質管理の手法を学ぶ 3つ目に、TQC活動で必要となるQC7つ道具を学ぶ</p>			
到達目標		評価方法	配分	
(1) 品質の定義を理解し、品質管理を行う上で必要な概念や検査の設計の考え方が説明できる		①中間試験(35%)、②期末試験(35%)③自学自習によるレポート(30%)で評価する。(到達目標項目ごとの配分ではない)		
(2) 統計的品質管理について理解できる				
(3) QC七つ道具の概略を述べることができる。				
学習・教育目標	(C)②	JABEE基準1(2)	(d)-(1)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	ガイダンス	品質管理の目的と必要性について説明する。併せてISO9001の考え方について説明する。	
	第2	品質管理の基本	品質とは何か、管理とは何か	
	第3	企業活動の基本	企業と消費者、製品の3条件、品質管理の歴史	
	第4	製造部門の役割	生産の仕組み、QCD(品質、価格、時期と数量)について	
	第5	人と組織	分業の考え方、グループ活動、欲求5段階説、X理論Y理論	
	第6	製造部門の管理	4M、人、材料、機械・設備の管理	
	第7	中間まとめ	ここまでのまとめとして中間試験を実施する。	
	第8	製造部門の改善	改善の考え方、問題点の選択、要因の洗い出し、解析	
	第9	検査の考え方(1)	抜き取り検査の考え方	
	第10	検査の考え方(2)	検査の種類、抜き取り検査の数理	
	第11	QC7つ道具(1)	QC7つ道具とは、パレート図、特性要因図、層別	
	第12	QC7つ道具(2)	管理図、散布図、チェックシート、ヒストグラム	
	第13	QC7つ道具(3)	新QC7つ道具について	
	第14	問題解決	問題解決の考え方	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また授業評価アンケートを行う。		
自学自習の内容		レポートを課す		
関連科目		会計学原理、原価計算論、マーケティング論、経営工学、経営管理論、経営財務論		
教科書		中級編品質管理実務テキスト、日科技連、米山高範		
参考書				
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員				
備考				